

2022年4月26日

立教セカンドステージ大学 同窓会会員の皆さま

【ご挨拶】

平素から同窓会へのご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、例年5月に開催してまいりました会員総会につきまして、昨年、一昨年は新型コロナウイルス感染症拡大が続き東京都に緊急事態宣言が発出され、会員の皆さまの安全が確保できない懸念があったことから残念ながら中止とさせていただきます。

今年はまだコロナ禍は続いておりますが、十分な感染予防対策を実施したうえで三年ぶりに会員総会、並びに講演会を対面形式で開催いたします。なお従来から会員総会・講演会に併せて開催してまいりました懇親会につきましては、東京都の感染防止ガイドライン等に従い今春も開催を見送ることにいたしました。

就きましては、会則第15条（会員総会）に基づき本年4月21日付の役員会で審議・承認されました会員総会資料（2021年度事業報告書、2021年度決算報告および監査報告、2022年度事業計画および予算（案）等の決議事項ならびに報告事項）をお送り申し上げます。

なお、現在もコロナ感染症拡大が続いており、今後さらに感染が拡大するような緊急事態が発生した場合には改めて開催の有無につきご連絡させていただきます。ご理解のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

総会議長 立教セカンドステージ大学同窓会会長 木村克俊

決議事項

- (1) 第1号議案 2021年度事業報告
- (2) 第2号議案 2021年度決算報告および監査報告
- (3) 第3号議案 2022年度事業計画および予算（案）

報告事項

報告事項1. 2022年度役員・委員、退任役員・委員、顧問の紹介(会則12条)

決議事項

(1) 第1号議案：2021年度事業報告

2021年度（2021年4月～2022年3月）は、次の事業を実施いたしました。

2021年度も2020年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大によって幾度となく緊急事態宣言が発出され引き続き社会全体の活動を自粛せざるをえない状況が続きました。立教セカンドステージ大学もオンラインによる授業が主体であった1年間でした。同窓会もコロナ禍にあって対面形式での活動はできませんでしたが、新しい潮流となったオンライン方式の利点を活かして、10月にオンライン形式で開催された立教ホームカミングデーへの参加や、講演会のライブ発信などコロナ禍でもできることに積極的に取り組みました。また、役員会は従来通り月1回の頻度で年間10回オンライン開催いたしました。

1) 第13回会員総会・講演会・懇親会の中止

当初オンライン開催で準備を進め、4月26日付メールマガジンで会員の皆さまに5月26日にZOOM利用によるオンライン形式で開催する旨連絡いたしました。その後、4月25日に東京都に発出された非常事態宣言が5月末まで延長され、外出自粛要請等によって関係者が会議室に集合して発信することが難しくなったことから、開催を中止し2020年度に引き続きメールによる総会議案書送付/報告を以って会員の皆さまから承諾を得る特例措置で対応いたしました。

2) 秋のホームカミングデーへのオンライン参加

10月17日に校友会がオンラインで開催したホームカミングデー（HCD）に参加し、上田恵介先生を講師にお招きして、『なぜ生物多様性が大切なのか』というテーマでライブ配信特別講演会を開催しました。また修了生によるYouTubeチャンネルでの修了論文発表会を配信、その他、西原立教セカンドステージ大学学長を始め各先生方、同窓会会員の皆さま方からホームカミングデーに寄せた投稿をホームページに掲載いたしました。コロナ禍において対面での活動は自粛されていましたが、オンラインならではの多彩な企画を創意工夫した結果、ホームカミングデー期間中のホームページへのアクセス数は大幅に増加しライブ配信視聴者数も延べ1千名を超えるなど、会員相互の交流・親睦が図られました。

3) 新規加入者からの振込みの受け皿のために郵貯振替口座新規作成

会員の皆さまの利便性を考慮し、新たにゆうちょ銀行立教学院内支店に郵貯振替口座を開設しました。

4) 14期生同窓会加入の勧誘

4月に入学した14期生に対して大学と連携して新規勧誘活動を行った結果、14期入学者94名に対し76名が加入しました。その他12期生1名、13期生1名の加入がありました。

(2) 第2号議案：2021年度決算報告および監査報告

2021年度は新型コロナ感染拡大の中、14期生76名をはじめ新たに78名が加入されたことから入会金収入は予定より増加することができました。

一方、支出はホームカミングデー（HCD）参加をオンラインで行い計画通りの実績となりました。また同窓会HP維持管理方法の変更に関わる費用が発生したことから次年度繰越金は予定より若干減となりました。

なお、当決算報告は監事より適正との会計監査を受けております。

2021年度決算報告書（2021年4月1日～2022年3月31日）

頭書の件、下記の通りご報告申し上げます。

立教セカンドステージ大学同窓会

財務委員長 鈴木 謙二

（金額単位：円）

収入の部		支出の部	
前期繰越額	1,396,715		
14期生新規会費 *1	380,000	総会懇親会費用	0
13期生新規会費 *2	5,000	Web維持管理費	348,644
11期生新規会費 *3	5,000	HCD参加費（会場設営）	129,328
総会懇親会費	0	HCD講演会講師謝礼	30,000
寄付金	0	会場費	5,500
受取利息	12	事務用品・備品費	3,160
		支払手数料	1,320
収入合計	1,786,727	支出合計	517,952
		次期繰越額	1,268,775

*1	76名入会	三菱UFJ銀行残高	1,193,775円
*2	1名入会	ゆうちょ銀行残高	75,000円
*3	1名入会	合計	1,268,775円

2021年度会計監査報告書（2021年4月1日～2022年3月31日）

2021年度の会計監査を実施した結果、帳簿の記載は正確で、関係書類並びに会計処理はすべて適正であり、決算書に相違ないことを認めます。

2022年4月8日 監事 宮本 明義 ㊟

2022年4月8日 監事 青田 主税 ㊟

(3) 第3号議案：2022年度事業計画および予算（案）

1) 2022年度事業計画（2022年4月1日～2023年3月31日）

『基本の考え方』

コロナ禍での生活はすでに3年を超え、この間社会環境や常識は大きく変化し私たちシニア世代の皆さまにとってもそれぞれに大きな影響があったことと思います。RSSC同窓会活動も例外ではなく、この間活動の柱となる5月の総会、講演会、懇親会は中止、また秋のHCDは直接での集いが叶わず、結果同窓会基本理念となる会員相互の交流を通じたワクワク感が失われる懸念がでてきました。しかしながらこのような状況の中、世の中は少しずつこのコロナを受け止めながら共生した社会活動の動きも始まってきています。これを受け、今年同窓会はこれまで自粛してきました対面形式での企画を状況に合わせて開催、またコロナ禍にあっても工夫を重ねたオンライン形式もその利点を活かしながら同時に併用し創意工夫することで活動の場を広げ、時代に対応した新しい同窓会活動の形を創り上げていきたいと考えます。

今年RSSC直近の修了生14期生から多くの皆さまを同窓会にお迎えすることができました。この機会に新しい視点で企画を開催し、同窓会会員相互の交流を深め、会員の皆さまにワクワク感を感じていただけるよう努めてまいります。

『具体的計画』

① 総会・講演会

総会および講演会は対面方式で開催し、同時に会場からのライブ配信を行い、直接会場にお越しいただけない会員の皆さまにもご覧いただけるようにいたします。なお例年同時開催の懇親会はコロナ禍の社会情勢により中止としますが、収束状況をみながら秋口以降の開催を検討してまいります。

② 秋のホームカミングデー（HCD）への参加

対面が可能な場合には会員同士が3年ぶりに集う場を想定し、HCDに相応しい魅力ある企画の提供を検討してまいります。またオンライン方式の定着も鑑み、双方の利点を活かした最善かつ可能な提供方法を模索してまいります。

③ 会員への情報発信

メーリングリストを活用し、会員相互の交流の場を提供いたします。また、メールマガジンをより一層充実させ、活動への理解深耕を図ってまいります。

④ 新規会員獲得

同窓会紹介等を適宜実施し、活動への理解と入会促進に取り組みます。

⑤ 寄付金募集

2021年度同様通年募集とし引き続き会員の皆さまのご理解を得てまいります。

2) 2022 年度予算案 (2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

(単位：円)

収入の部		支出の部	
前期繰越額	1,268,775	総会講演会費	132,000
入会費 (注 1)	350,000	HCD 参加費	132,000
寄付金 (注 2)	50,000	HCD 講師謝礼	30,000
受取利息	10	Web 維持管理費 (注 3)	230,000
		会場費	20,000
		事務用品・備品費	10,000
		支払手数料	2,000
		予備費	20,000
収入合計	1,668,785	支出合計	576,000
		次期繰越額	1,092,785

(注 1) 15 期生 70 名×5,000 円 ※2021 年度実績 14 期生 76 名、

(注 2) 2019 年度実績 86,640 円 (HCD&記念行事)

(注 3) ホームページ維持費用

報告事項

報告事項 1. 2022 年度役員・委員、退任役員・委員、顧問の紹介(会則 12 条)

* 敬称略

2022 年度は、次の方々が役員・委員に就任されます。

会 長	木村克俊 (10 期生)	
副会長	鎌倉利博 (再 12 期生)	佐藤眞里子 (新 11 期生)
	三井秀俊 (新 13 期生)	
総務委員長	福田 剛 (新 12 期生)	
副委員長	河村宣幸 (新 14 期生)	
総務委員	山崎訓由 (新 14 期生)	
財務委員長	中野克己 (新 12 期生)	
副委員長	白川政明 (新 14 期生)	
財務委員	加藤美鈴 (新 13 期生)	

広報委員長	高野雄太 (新 12 期生)	
副委員長	橋本 修 (新 14 期生)	
広報委員	中田克己 (新 14 期生)	小関栄一 (新 14 期生)
HP 運営委員	堀 晴美 (新 12 期生)	土屋秋子 (新 12 期生)
	石塚達郎 (新 14 期生)	
事業委員長	庄野朋子 (新 12 期生)	
副委員長	門脇重光 (新 14 期生)	
事業委員	大谷文敏 (新 14 期生)	小幡道宏 (新 14 期生)
	小島英彦 (新 14 期生)	
監事	宮本明義 (10 期生)	青田主税 (10 期生)

(注) 会長、監事はいずれも任期内。

役員・委員の定数については会則で定めた定数を超過していますが
来年度以降、コロナ禍が沈静化した段階で同窓会運営体制を改めて
検討する予定です。

「顧問の紹介」

1 期～12 期の期生会の顧問は次の方々です。

1 期生	白井誠一	2 期生	秋吉秀人
3 期生	神山 利	4 期生	大戸澄子
5 期生	大塚友子	6 期生	今田悟史
7 期生	木村栄作	8 期生	亀山哲男
9 期生	安河内貴志	10 期生	佐藤勇一
11 期生	山下栄作/松澤順一	12 期生	鎌倉利博

「退任役員・委員の紹介」

次の方々役員・委員を退任されます。

加藤則明 (副会長)、山下栄作 (副会長)、新井芳明 (広報委員長兼 HP 運営委員)、
木村陽子 (広報委員)、渦尾洋之 (広報委員)、田中伸弥 (HP 運営委員)、
石井友二 (総務委員長)、小松正 (総務委員)、斉藤幸代 (総務委員)、鈴木謙二
(財務委員長)、関澤恵子 (財務副委員長)、首藤ふみ子 (事業副委員長)、
中西俊二 (事業委員)、澤村直美 (事業委員)、石井貴子 (事業委員)

以上